

## 活動がぐんぐん活発になり始める時期です

この時期になると、ジャンプしたり、飛び降りたり、走ったり、動きがますます活発になっていき、歌やリズムに合わせて体を動かして遊ぶことも楽しめるようになってきます。

いろいろな事に興味を持つ一方で、身のまわりのものを観察し始めるようになる時期でもあります。また、食事・排泄・衣服の脱ぎ着など、簡単な生活動作もできるようになり始めます。家の中の環境を少しずつ整え、**お子さんが自分でできそうなところは手を出さず、できないところはさりげなく手を貸しましょう。**そして、なにかができたら褒めて、「自分でやろう」「自分でできた」という気持ちを育てていきましょう。

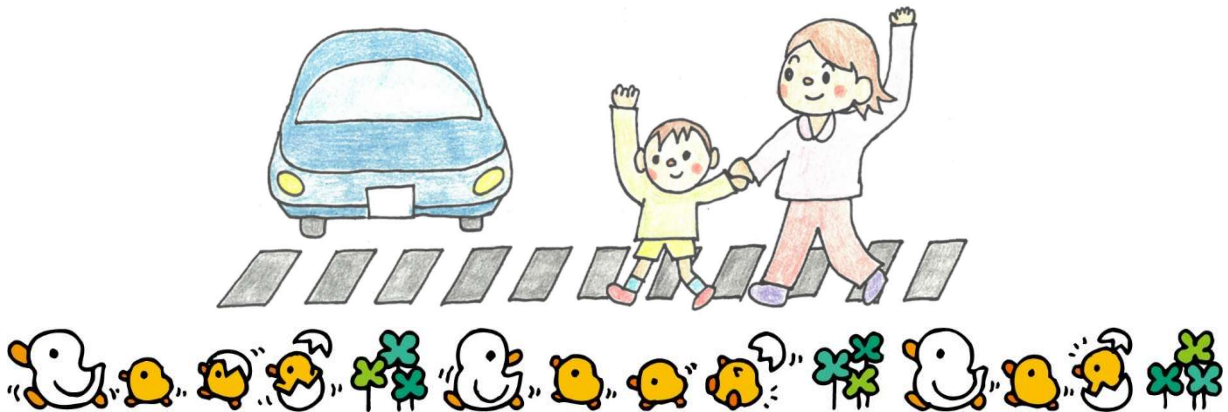
☑チェック  
してみよう

### ご家庭ではこんなことに気をつけましょう

運動機能が著しく発達し、行動する範囲がどんどん広がっていく時期です。

安全に楽しく生活するために出来ることがたくさんあります。

- 活動量が増えていきます。道路や外を歩くときには、必ず手をつなぎましょう。
- 自転車や三輪車などで遊ぶ時には、必ずヘルメットをかぶり、頭を守りましょう。
- 固定遊具で遊ぶ際には、リュックやかばんは遊具にひっかかり、窒息や怪我につながる危険があるので、必ず外しましょう。ひも付きの衣服（フードのひもなど）も、ひもを外してから着るようにしましょう。
- 転倒予防のため、**お子さんの足に合った適切なサイズの靴**を履かせましょう。



### 保育所で気をつけていること

- ※ 滑り台やブランコや高い所で遊んでいる時には、転落しないよう見守っています。
- ※ 正しい遊具の使い方を教えブランコのまわりで遊ばない、すべり台の上に複数の子どもが立たないように見守っています。
- ※ 大人数での遊びの時には、まだ、友達との距離感がつかめないことによる、衝突があるため、スタート地点とゴール地点を決めて、皆が一定方向に移動するように誘導しています。
- ※ 水遊びの時には、**水深を10cm～子どもの膝下までの深さ**にして、必ず見守ります。
- ※ **雪遊びの時には、軒下は避け、外に出た時と外から帰った時の人数**をチェックし、必ず見守ります。

# 親子で楽しむ！新聞紙遊び

丸めたり、破いたり…どんな形にでも変化していく新聞紙は、最も身近で想像力をかき立てる素材の一つです！新聞紙がないご家庭は、雑誌やカタログで代用もできます。

## ①びいびい破いて！



袋に入れてボールに変身！



段ボールに入れてお風呂ごっこ



袋につけてファッションショー



## すぐ出来る！お片づけ名人になる3つの工夫！

保護者の方の悩みの一つである“遊んだ後のお片づけ”ちょっと工夫でスムーズにできるようになります。

### ① 片づける場所を具体的に決め、種類別に分けます。

100均などに売っているカゴを使うと便利です。全部同じ物に揃えると、統一感が出て、スッキリしますよ。



### ② カゴに片づける物の写真を撮って貼りつけます。



写真を貼ることで、どこに片づけたらいいか分かります。お子さんと一緒に写真を貼ってみるのもいいですね。

きれいに  
かたづけ  
できたね！



### ③ 「片づけなさい！」と言葉だけで子どもにさせようとするより、親子で一緒に片づけることで覚えられるようにしましょう。きれいになったことを喜び、気持ち良さに共感することも大切です。

## 《読み聞かせにいかがですか？》



**「きんぎょがにげた」** 福音館書店  
きんぎょがあちらこちらに逃げて上手に隠れています。親子で一緒に探すのが楽しい絵本です。カラフルな色使いもきれいで眺めているだけで楽しいですよ。



**「いちご」** 福音館書店  
花が咲き、実がなり、いちごが色づくまで、丁寧に描かれています。本物そっくりで、思わず「パクッ」「おいしいね」「あまいね」などやりとりが楽しい絵本です。